

舞浜地区の道路下に雨水貯留管を整備します

はじめに

近年、いわゆるゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な大雨等が頻発し、全国各地で浸水被害が多発しており、住民生活・社会経済活動に影響をきたすなど、雨の降り方が「局地化」・「集中化」・「激甚化」する傾向にあります。



【整備箇所の概要】



舞浜地区は浸水被害が顕在化していることから、緊急性が高い地区と位置づけ、その対策となる道路下に雨水貯留管の整備について令和3年度からの着手を目指しています。

なお、この事業は国土交通省関東地方整備局首都国道事務所と浦安市との協同で行います。

雨水貯留管の概要は裏面へ

雨水貯留管の計画概要について

《計画概要》

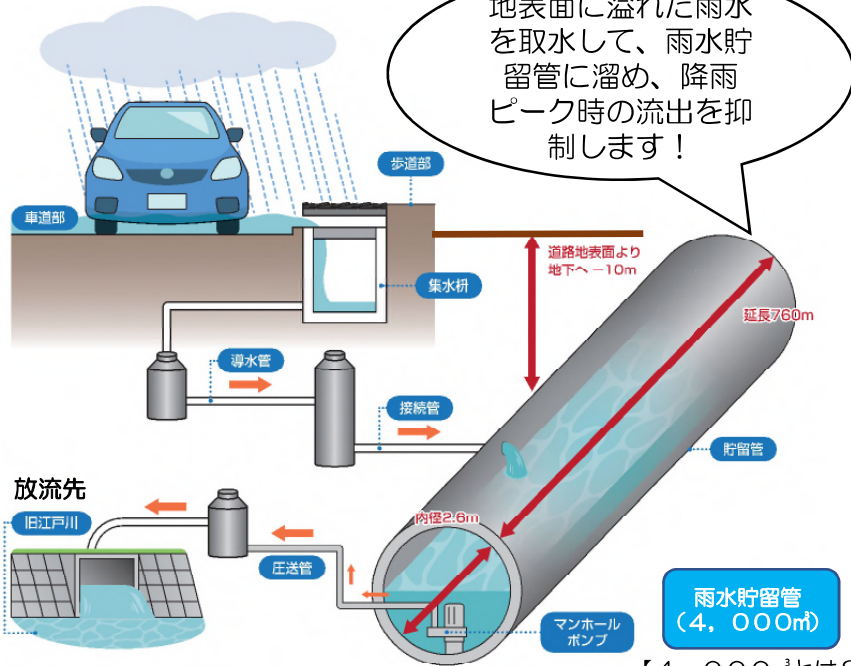
計画名 舞浜第4排水区整備計画
 計画区域面積 25.3ha
 貯留施設 貯留管4,000m³ (地下約10m、内径約2.6m、延長約760m)

事業期間 令和2～5年度 (令和2年度 **設計** 3年度 **工事** 5年度)

《整備効果》

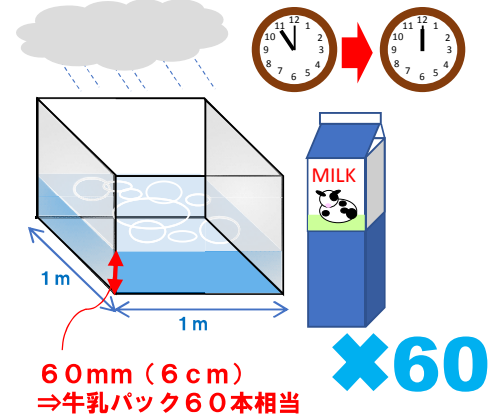
- 浦安市では、これまで時間50mm (5年に1回起こりうる大雨) の降雨に対する対策を行ってきましたが、今回整備する雨水貯留管は、計画降雨である時間60mm (10年に1回起こりうる大雨) に対応する施設を整備し、能力アップを図ります。
- 雨水貯留管の施工はシールド工法で行い、車道の地表面より地下約10mの位置に約2.6mの内径・延長約760mの施設です。
- 雨水貯留管に「ためる」ことのできる雨水は約4,000m³であり、これは25mプール約13杯分に相当し、時間60mmに対応します。
- 雨水貯留管の整備により、国道357号舞浜交差点付近で度重なり発生していた道路冠水が軽減できます。

【施設概要 (イメージ)】



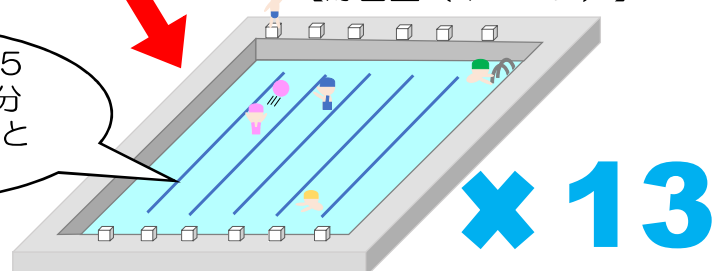
【雨の強さ (イメージ)】

Q: 時間60mmの雨とは?
 A: 1m²の水槽に1時間に60mmの高さまで溜まる規模の雨のこと。
 気象庁によると「非常に激しい雨」、「滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)」、「傘は全く役に立たなくなる」と表現しています。



【4,000m³とは?】
 25mプールに換算すると

【貯留量 (イメージ)】



雨水貯留管には25mプール約13杯分の雨水をためることができます!



【シールド工法 (イメージ)】

浦安市 都市整備部 道路整備課 河川海岸係
 〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目1番1号 TEL: 047-712-6577 (直通)